

# ルツェルン 祝祭管弦楽団の メンバーによる 室内楽の調べ

〜 ハーゲン弦楽四重奏団と仲間たち 〜

2015年東日本大震災の支援プロジェクトとして移動式ホールでの音楽祭「ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ2015」が福島の地で開催されたのは記憶に新しいところ。また、福島市はスイスのホストタウンに登録しており、そのスイス、ルツェルン祝祭管弦楽団のメンバーを中心にした室内楽公演をお届けします。世界最高峰の弦楽四重奏団として名高いハーゲン弦楽四重奏団。弦楽四重奏団としての同団との関りも深く、中でもチェロのクレメンス・ハーゲンは首席チェロ奏者。またヴィオラのヴェロニカ・ハーゲンも常連メンバー。コンサートに華を添えるのは、オーボエの吉井瑞穂とギターの鈴木大介。同団のレギュラーメンバーとして、アバド、ハイティンクなどの巨匠指揮者の信望も厚い吉井と、昨年、ギタリスト公演でも名演を披露、「ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ2014in仙台」にも出演した鈴木によるデュオに期待が高まります。一流の室内楽奏者が奏でる弦楽四重奏、オーボエ、ギターの調べをご堪能ください。



## ハーゲン弦楽四重奏団

ルーカス・ハーゲン (第1ヴァイオリン)  
ライナー・シュミット (第2ヴァイオリン)  
ヴェロニカ・ハーゲン (ヴィオラ)  
クレメンス・ハーゲン (チェロ)

*Hagen*  
Quartett

2011年に結成30周年を迎えたハーゲン弦楽四重奏団はザルツブルクで弦楽奏者の親のもと、音楽的環境の中で育ったルーカス、アンゲリカ、ヴェロニカ、クレメンスの4人兄弟によって結成された。第2ヴァイオリンはその後、現メンバーのライナー・シュミットに交替した。彼らはみなザルツブルク・モーツァルテウム・アカデミーで学んでいる。

ハーゲン弦楽四重奏団にとってアーノンクール、クルタークとの出会いは、彼らの音楽的な視野を大きく広げ、大きな財産となっている。また、これまでにポリニ、内田光子、ツィメルマン、ヴィトマンといった演奏家たちと共演している。

ハーゲン弦楽四重奏団は、81年にロッケンハウス音楽祭で大賞を受賞。翌年にはポーツマス弦楽四重奏コンクールで優勝。また83年にフランスのエヴィアン、カナダのバンフ・コンクールで立て続けに優勝した。1984年にはザルツブルク音楽祭にデビュー、大成功を収め、その後ドイツ・グラモフォンなどから数々のCDをリリースしている。



*Mizuho Yoshii*

吉井 瑞穂

オーボエ

©Satoko Imazu

東京芸術大学入学後、渡独しカールスルーエ国立音楽大学を首席で卒業。日本音楽コンクール優勝ほか、英バルビローリ国際を含むコンクールで入賞。ベルリン・フィルでエキストラ奏者として活躍後、シュトゥットガルト国立歌劇場管の首席奏者を経て2000年からマラー室内管の首席オーボエ奏者を務めている。アバドをはじめ、ヴァント、アーノンクール、ブーレーズ、ラトル、ハーディングら世界的巨匠の指揮で演奏を重ねており、欧州主要オーケストラ、アンサンブルから頻りに客演首席奏者として招かれている。ソロや室内楽でも精力的に活動中。



*Daisuke Suzuki*

鈴木 大介

ギター

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナリス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。ブログ <http://daisukesuzuki.at.webry.info/>